



YKK

sustainability

journal



大きな変革 に向けた 小さな物語

小さなファスナー 1本と、大きな地球を守る
こと——

この2つにどんな関係があるのでしょうか。
私たちYKKは、サステナビリティに全社を挙
げて取り組むことによって、お客様、地域
社会、そして社員とともに、持続可能な社会の
実現に貢献していきます。これはYKKの精神
であり、責務です。

海洋プラスチックのリサイクル素材で
つくった商品の提供、2050年までのカーボン
ニュートラルの実現、そして、地域の学校へ
の支援。

これらの活動一つひとつの積み重ねが、やが
て大きな変革をもたらすと、私たちは確信し
ています。

私たちのこの小さな物語をお伝えします。そ
して、力を合わせれば、希望に満ちた未来を
つくることができる——

この未来に向けた旅路を、一人でも多くの人
とともに歩んでいきたいと思っています。

contents

- 06** Road to zero
2050年までの大きな目標
- 08** YKKサステナビリティビジョン2050
アクションプラン
- 10** 石油由来素材からの脱却
温室効果ガス排出削減に向けて
- 12** ECO-DYE®
水をほとんど使用しない技術
- 14** YKK創業者 吉田忠雄
「清らかな湧き水のごときものづくり」
- 16** 「善の巡環」
受け継がれるYKK精神
- 18** 支援の輪を広げる
女性の自立支援と地域の発展のために
- 20** 子どもたちを見守る
地域社会のより良いパートナーとして
- 22** 海を守るものづくり
海洋プラスチックに新たな命を
- 24** さあ、今こそ――

2050年までの 大きな目標。 それは、限りなく 「ゼロ」に近づけること

地球と人々の明るい未来に向け着々と進行している
「YKKサステナビリティビジョン2050」。
今、危機的状況にある地球を守るために
私たちにはやるべきことがあります。

how?

再生可能エネルギーへの切り替え、100%持続可能な素材への転換、そして、水や化学物質の使用量削減。

こうした取り組みを通じて温室効果ガス排出実質ゼロ（カーボンニュートラル）を目指します。

「YKKサステナビリティビジョン2050」は、全世界の社員や経営の意見を取り入れて策定したものです。一人ひとりが当事者意識を持ちながら活動し、チームワークを大切に、グローバルに展開しています。

why?

70を超える国と地域でグローバルに活動するYKK。未来の世代にポジティブな影響を与えることを目指しています。そのためには、多様なパートナーと力を合わせてイノベーションを起こしていくこと、そして、公正な姿勢で献身的に活動していくことが必要です。

このビジョンは、地球に暮らす全ての人々に対する思いやりを込めた、特別なビジョンなのです。

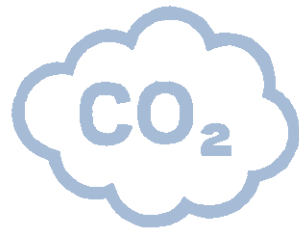
「最も尊いステークホルダー、それは自然と環境です」

—— YKK株式会社 代表取締役社長 大谷 裕明



sustainability vision 2050

YKK's action plan for a sustainable future



気候変動

2050年までに
カーボンニュートラルを実現

材料資源

2030年までに
繊維材料を100%持続可能な素材に変更



水資源

水の使用を削減し
再利用を拡大

化学物質管理

新たな製造方法を導入し
化学物質の使用量を削減



人権の尊重

YKKのサプライチェーン全体で
安全で公正な労働環境を整備

サステナビリティとイノベーションは切り離せません。
YKKはものづくりにおいて革新的なアイデアを生み出し、
環境負荷を最小限に抑えます。



「YKKとともに活動できる
ことの素晴らしさを感じて
います。私たちはYKKから、
気候変動に取り組むパート
ナーになろうと提案を受け
ました」

— Cara Chacon
VP Social & Environmental
Responsibility
Patagonia®

温室効果ガス 排出削減に向けた 一人ひとりの さらなる努力



how?

YKKのNATULON®は、製造工程で石油由来の材料からの転換を実現した商品です。ファスナーのチェーンとテープに、ペットボトルなどのリサイクルで生まれた再生ポリエステルを使用。

現在までに1,000トン以上のプラスチック廃棄物がファスナーに生まれ変わりました。

石油使用量の削減、さらにプラスチックの再利用は、温室効果ガスの排出削減、そして気候変動の抑制につながるのです。

地球規模の課題を解決するためには、パートナーシップが不可欠です。YKKは、パリ協定の目標達成に向けて「ファッション業界気候行動憲章」の署名企業として、パートナー企業とともに真摯に向き合い、これからも行動していきます。

why?

「YKKサステナビリティビジョン2050」は「人と自然の未来をひらく」ための、全社をあげた取り組みです。この小さなファスナーが、多くの人々に届いていると考えたとき、私たちYKKは革新的なものづくりを通じて、地球に負荷をかけずに、むしろ良い影響をもたらしたいと考えています。

無水染色技術ECO-DYE®。

水をほとんど使わずにファスナーを染色する画期的な技術は、
あくなき探求心から生まれました。

how?

これまでにないものを新たに生み出すためには、10年以上に及ぶ粘り強い研究開発と、一致団結したパートナーシップが必要でした。その努力が実を結び、水をほとんど使わずに従来通りの発色を可能にした、革新的な染色技術ECO-DYE®が生まれたのです。

ECO-DYE®は、ファスナーを染色する際、水の代わりに超臨界二酸化炭素を使います。染色過程はもちろん洗浄にもほとんど水を使わず、廃水も最小限に抑えられます。また、乾燥の必要がないため省電力化も実現し、温室効果ガスの排出を削減します。

why?

人が生きるために欠かせない水。

世界では3人に1人がきれいな水を利用できない現実があります。私たちYKKは、地球規模で起きているこの課題に対して、水使用量を減らす技術開発に取り組みました。

貴重な水資源を守りたい——

この強い思いから生まれた技術が、
ECO-DYE®なのです。



「技術で変革を起こす。
その決意で
開発を続けました」

—— YKK株式会社 齋藤 崇

私たちの 技術で 貴重な水資源を ずっと守る





より良いものをつくる。

地球を守る



「清らかな湧き水のごときものづくり」
すばらしい泉のように、豊かな本物が出てくる。
これが本当の豊かさです。大切なのは貴重な
資源のロスを出さないこと。明らかに立派な商
品になるはずです。

——1984年1月 YKK創業者 吉田忠雄

how?

YKKの経営理念の中心には、公正 (fairness) があります。

YKKの始まりは、世界中の人々と社会の幸せのためのものづくりをするという使命にあります。小さな工夫や改良を積み重ね、80年以上にわたり技術革新に挑戦してきました。そして今、これまで培った技術を駆使し、2050年までに温室効果ガスの排出実質ゼロを目指します。

YKKの公正な精神は、人権、多様性、労働環境、地域コミュニティへの参画など、多岐にわたり息づいています。創業以来、私たちが受け継ぎ、そして未来へ引き継ぐ精神です。

why?

地球環境を守りながら事業が発展すれば、人々の暮らしも向上し、社会にも貢献できる。70を超える国と地域で活動するYKKでは、そこで働く全ての人々が、一つの理念のもとに日々活動しています。

YKK精神は、私たちの全ての活動の根底にあります。



YKK創業者 吉田忠雄

「善の巡環」の「環」の字は、池に投げた石の波紋のように、お互いの善意の輪が広がりつながることを表現しています。そこには、人間の善意の巡環が世の中を真に豊かにしていくという信念と、その実現に向けた吉田忠雄の強い意志が込められています。

「善の巡環」

他人の利益を図らずして自らの繁栄はない



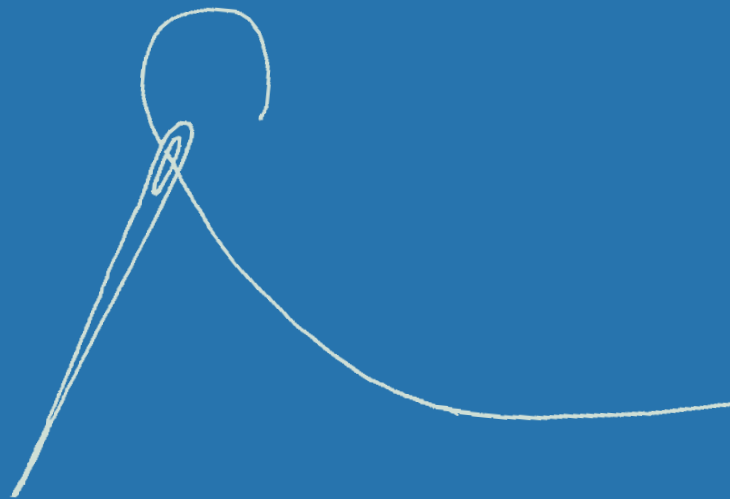
企業は社会の重要な構成員であり、共存してこそ存続でき、その利点を分かち合うことにより社会からその存在価値が認められるものです。

YKKの創業者吉田忠雄は、事業を進めるにあたり、その点について最大の関心を払い、お互い繁栄する道を考えました。それは事業活動の中で発明や創意工夫をこらし、常に新しい価値を創造すること

によって、事業の発展を図り、それがお客様、お取引先の繁栄につながり社会貢献できるという考え方です。

このような考え方を「善の巡環」と称し、常に事業活動の基本としてまいりました。私たちはこの考え方を受け継ぎ、YKK精神としています。

身につけたのは、 一針ごとに 夢をカタチにする力



職業訓練センターのプログラム修了者

YKKインド社に設立した社会・職業訓練センターでは、若い女性たちが刺繍・縫製、英語、パソコン技能など、社会で自立するための技術を学んでいます。しかし、彼女たちが得るものは技術や知識だけではありません。夢をカタチにして、自立して生きること。そして、地域の発展の一翼を担う力を身につけているのです。

how?

学校はインドのバワルにあるYKKの工場内にあります。近隣の村から10~15名の生徒が集まり、1年間の訓練コースを受講しています。生徒たちには、制服、食事、教材を提供し、安心して学ぶことができる環境を提供しています。ここには、知識や技術の習得だけでなく、もっと大切なものがあります。

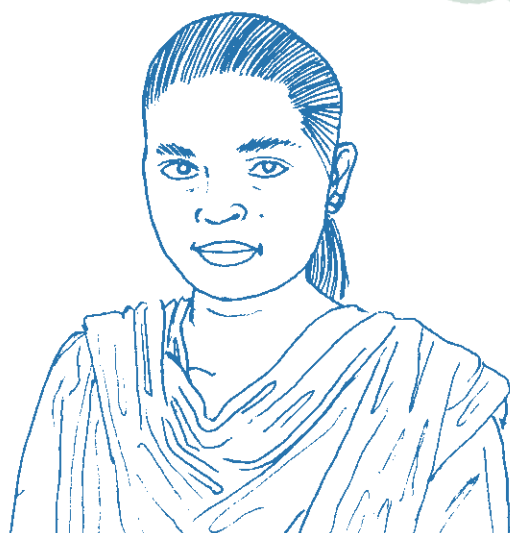
卒業生のSmunは言います。「たくさんの友達と出会うことで、自信が持てるようになりました」と。

そして、コース終了時には学位に加え、これからの彼女たちの助けとなるマシンが贈られます。

why?

YKKは地域に貢献するために、このセンターをつくりました。生徒たちは新たな技術や知識を学びながら、自ら働き、家族を支える力を育みます。

縫製の仕事を始める人、IT分野で働く人、自分のアパレルブランド立ち上げを目指す人。全ての卒業生が、自立し、大きな可能性に満ちた未来への切符を手にかけています。



「この学校のおかげで、自分の力で夢を実現することに、自信を持ってチャレンジできます」

—— 卒業生 Puja

安心して学び 遊べるよう 学校を見守る YKKの地域支援



how?

YKKエルサルバドル社は、地域社会の課題解決のために、今回新しいプロジェクトを完了させました。治安の良くない地域にある小学校に、外周壁設置の支援を行い、子どもたちが犯罪に巻き込まれることなく、安心して学び、遊べる空間を提供したのです。

why?

私たちYKKは、事業を行う地域で、信頼されるパートナーでありたいと考えています。

この学校では、IT機器の提供、設備の修繕、音楽クラスの支援といった継続的なサポートを提供しています。

企業は社会の全ての人にとって、より良いパートナーとならなければならない。このプロジェクトは、YKKの精神を表す一例です。





「私たちが育てているのは
変革を生み出す可能性です」

— Marco Baratta
Human Resources Manager
YKKエルサルバドル社

A person wearing a blue and purple jacket stands on a rocky beach, looking out at the ocean. The scene is captured during sunset or sunrise, with a warm, golden light in the sky. The ocean waves are breaking against the rocks, creating white foam. The person is standing in the foreground, looking towards the horizon.

海を守るために。

YKKは海洋プラスチックを回収し、
ペットボトルをリサイクルして、
新たな商品を生み出しています。

これは、一過性の取り組みではありません。

私たちYKKが今、変革に取り組むことが、
次世代への大きな贈り物になると信じているからです。

命を 与えてくれる海に 恩返しを

how?

YKKの環境活動は、1994年の「YKKグループ環境宣言」の制定によりさらに本格化しました。そして現在YKKでは、多様なパートナーと連携しながら、革新的なものづくりに挑戦しています。

YKKスリランカ社では、地域社会と協力してペットボトルを収集し、海洋プラスチックを材料にしたファスナー NATULON® Ocean Sourced®の原材料として使用しています。

why?

YKKグループは「環境との調和」を事業活動の最優先課題としてきました。

地球の約71%を占める海の環境を守ることは、当然のこと。この活動は、美しい海を守り、温室効果ガスの排出を削減し、地球と全ての人々により良い環境をもたらします。

私たちに命を与えてくれる海。

今こそ、海を守る行動を起こすべきときなのです。



さあ、今こそ——

YKKのサステナビリティへの芽生えは、1934年。お客様と社会の幸せのためのものづくりを目指して創業した、そのときのこと。

そして今、私たちは2050年に向けて温室効果ガスの排出実質ゼロを目指す「YKKサステナビリティビジョン2050」を掲げました。今すぐに行動しなければならない、というYKKの決意表明です。

YKKが考えるサステナビリティは、環境に配慮したものづくりはもとより、YKKが関わる全ての人々や地域社会に対して、平等に公正さを追求し、持続可能な関係を築くための多岐にわたる取り組みです。

サステナビリティの探求に、終わりはありません。

私たちYKKは、多様なパートナーと手を携え、素晴らしい未来をつくりたい。地球を守る、という強い気持ちで、より深くつながり、互いを思いやり助け合う。私たちは今、未来への旅の途中にいるのです。



子どもたちの学びと健やかな成長をサポートする「キッズフットボールクリニック」



YKKは非営利団体UBUNTU LIFEと持続的な雇用創出のためのパートナーシップを締結

A blue zipper is shown partially unzipped, revealing a scenic landscape. The zipper pull is a silver metal piece with the YKK logo embossed on it. The landscape inside the zipper opening features a person standing on a small rock in the middle of a calm lake, surrounded by a dense forest of evergreen trees and majestic, rocky mountains in the background under a cloudy sky.

地球。

このもっとも大切な
パートナーとともに
YKKは生きていく

photography

Covers - Chema-Photo on Unsplash

p2 - Dave Hoefler on Unsplash

p6-7 - Chuttersnap on Unsplash

p10 - Getty Images

p13 - YKK

p14 - YKK

p18 - YKK

p21 - YKK

p22 - Getty Images

p24 - Brian Yurasits on Unsplash (Bottles)

p26 - Joshua Earle on Unsplash

YKK®

「YKK」 「ECO-DYE」 「NATULON」

「OCEAN SOURCED」 はYKK株式会社の
登録商標です。

March 2021 vol.1

© 2021 YKK Corporation, All Rights Reserved



to be continued